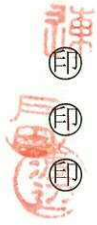


## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博（水・環）甲第42号	氏名	董 思夢
学位審査委員	主査 連 清吉 副査 戸田 清 副査 渡邊貴史 		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>董思夢は、2015年10月に長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科博士後期課程に進学し、現在に至っている。同氏は、水産・環境科学総合研究科に進学以降、環境海洋資源学環境科学を専攻して所定の単位を修得するとともに、プレジャーボートレジャー産業の調査分析に関する研究に従事し、その成果を2018年7月に主論文「日本プレジャーボートレジャー産業発展における成功させる要因の分析」として完成させ、参考論文として、学位論文の印刷公表論文3編（うち審査付き論文3編）を付して、博士（学術）の学位の申請をした。長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授会は、2018年7月18日の定例教授会において論文内容等を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の審査委員を選定した。委員は主査を中心に論文内容について慎重に審議し、公開論文発表会を実施するとともに、最終試験を行い、論文審査および最終試験の結果を2018年8月29日の水産・環境科学総合研究科教授会に報告した。</p> <p>本研究は、まず、各国のプレジャーボート産業について、プレジャーボート製造・販売の状況、プレジャーボートレジャー発展状況（政策、レジャー人数、プレジャーボート登録数、プレジャーボート免許取得数を含む）を分析し、各国のプレジャーボート産業発展の利点、欠点、機会および脅威（SWOT）を明らかにする。そして（1）修正デルファイ法（2）AHP（階層分析法）（3）IPA（重要度 - パフォーマンス分析）を用いて、各地域のプレジャーボート港湾管理者、プレジャーボートクラブ経営者、および関連する船舶管理者を主な研究対象として、修正デルファイアンケート、AHP アンケート、IPA アンケートを行う。</p> <p>調査結果を分析して、（1）回答者は属性が異なるため、結果も差がある。その結果、港湾管理者、船舶管理者、クラブ経営者のランキングには違いがあり、職業が異なるため、重視されている影響要素が異なることが示されている。（2）重要度の方面では、重要度平均値からみると、クラブ経営者は港湾管理者よりも大きく、クラブ経営者がV11-浮桟橋の整備（ボートパーク含む）の発展に対してもっと重視することが分かった。</p>			

最後に、プレジャーボートレジャー産業発展における成功要因の分析結果を、各要因の重要性と満足度の分析結果に組み合わせて、地方自治体、クラブに、ボートのテストライドの形で海事イベントや海上活動や釣り活動を多く開催し、地域住民にマリナーレジャーや海洋に触れる機会を提供すること、政府に、ボートのローン金利割引などの緩和政策を実施し、中古艇の流通市場の促進を支援するとともに、政府主導のメディアはマリナーレジャー活動を複数の視点から推進し、より多くの人々が参加できるようにすること、教育機関に、マリナー観光管理関連の専攻に焦点を当て、同時に海洋レジャーの観光管理の人材を育成するとともに、ボートレジャーに対する観光意識の理解及び意識への育成教育を強化すべきだと提案する。

その成果は日本プレジャーボートレジャー産業の発展に多大の寄与をするものと評価できる。

学位審査委員会は、プレジャーボートレジャー産業の進歩発展に貢献するところが大きく、博士（学術）の学位に値するものとして合格と判定した。